

# 「学生調査」研究報告

## 教職課程を選択した音大生の意識と生活の特徴について

### —全国調査と比較して—

教授 田邊 克彦（教職論・生徒指導論）

教授 山田日出雄（教科教育法）

本研究は、東京大学大学院教育学研究科が「学部教育の質の高度化が大学改革の課題となっています。社会の変化や入学試験の多様化などを受けて大学生の学習意欲や学力が大きく変化する一方で、急速に変化しつつある労働指導との対応にも大きな亀裂が生じていることも指摘されています。こうした状況の中で、日本の高等教育のあるべき大学教育の姿と、それを実現する戦略について、基本的なデザインを描くことが求められています。そうした戦略の策定のためにはまず何よりも、実態を明らかにすることが重要と私たちは考えました。大学生がどのような希望を持ち、どのように大学の学習に参加し生活しているのか、その結果としてどのようなインパクトを受けているのか。それを様々な専門分野、あるいは大学をつうじて明らかにすることが高等教育改革の基礎として極めて重要です。（全国大学生調査第 1 次報告書 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター 2008 年 5 月の“はしがき”より抜粋）」を目的として、2007 年度に全国の大学を対象に学生調査を実施した調査項目を基に比較研究をするため、本学の教職課程選択者を対象として調査を実施したものである。

調査内容は、大きく分けると「授業について」「大学教育について」「卒業後の進路について」「日常生活について」「経験、家族について」「教職課程について」にわたるものである。各調査項目は、本学の音楽大学としての特質と教職課程選択者を対象としたことを踏まえて、全国調査とは形式を変えた質問や新たに質問事項を加えて実施した。

調査は、学部 1～4 年生、短大 1～2 年生を対象として 2009 年 10 月に実施し、142 人の学生から回答を得た。本報告はこの調査結果をもとに分析を行ったものである。

東京大学が実施した全国調査と同じ質問項目については、全国調査との比較研究を行い、独自項目については、単独での分析にとどめている。

特に、教職に関する質問については、全国調査のデータは存在していないので結果の分析について比較研究はなされていない。本学の教職選択者が持っている教職に対する意識等について分析をおこなった。

全体としては個別の質問項目にそって比較研究を行い、項目ごとに結果をまとめているが、調査項目をクロス集計しての分析までは至っておらず、全国調査との単純比較にとどまっている。大学と短大との違いなど調査対象を区別して分析することや各項目の関連性などをクロス集計する必要がある、この点については今後の研究の課題とし、本稿とは別の機会に行うこととする。

本稿で明らかになった本学学生（教職選択者）の実態について、今後の本学のさまざまな活動に活用していただければ幸いである。

## 1. 大学入学後の経験

「大学での勉強方法（スタディ・スキル）を学ぶ科目」を経験した学生は、19.7%おり、12.7%の学生は有用であると答えている。経験した学生のうちの64.5%は有用であると答えている。全国統計では経験した学生は40.4%おり、そのうち63.4%の学生が有用であると解答している。すなわち、経験した本学の学生が有用と考えている比率は全国の学生統計を上回っている。この点からから考えても、スタディ・スキルは学生にとって有用であり、本学でもさらに多くの学生が経験できるよう推し進める必要がある。

「インターンシップ」を経験した学生は、58.5%おり、全国平均の25・9%を大きく上回っている。本学の調査が、教職課程の選択者を対象とした調査であるので当然結果であるが、経験した学生のうち89.2%の学生が有用であると回答している。全国平均では78.8%が有用であると解答している。本学の学生は、教育実習によるインターンシップが大部分であるとはいえ実社会での経験の重要性を認識しているといえる。

他大学の聴講については6.3%の学生しか経験していない。経験した学生のうち78%は有用であると答えている。専門の音楽とは別に一般教養を高める意味では他大学の様々な講義を受けることは、学生にとって有意義なものである。本学の教養教育の在り方を検討する際に考慮すべきものである。

留学については6.3%の学生が経験をしている。全国平均は10.3%である。経験した本学学生のうち89%が有用、非常に有用であると回答している。全国調査では70.8%が有用、非常に有用であると回答し、中でも人文社会教育芸術系統の学生は74%が有用、非常に有用と答えている。

## 2. 意味があった授業

教養・共通科目、専門科目、実技教育、資格課程関係科目で回答してもらったが、音楽大学の特徴である実技科目の7割が「意味があった」という高い回答率になり、専門科目が6.3割の回答になっている。一方、教養・共通科目は4.9割と5割を割っている状況にある。ここにも今強く求められている学士力に関わる教養教育についての問題が予測される結果になっている。

資格課程については、教職課程が「意味があった」が5.9割であるが、学芸員課程科目、社会教育主事課程科目がそれぞれ4.6割、4.3割と5割を割る結果になっている。

「意味があった授業」の特徴については、「実技・技能向上におおいに役にたった」が約67%でトップ、次に「将来役に立つ実践的な知識を教えてくれた」が65.5%になっている。全国統計では、「将来役に立つ実践的な知識を教えてくれた」が50.4%であることと比較すると約17ポイントも高くなっており、キャリア教育の観点からも、実技系の大学としての成果の表れといえる。一方で、「教え方がうまかった」という回答は38%で全国平均の34.4%よりは高いとはいえ、教員として課題とすべきことである。

### 3. 授業形態

これまで受けた本学における授業形態を全体が 10 割になるよう回答させたところ、「100 人以上の講義」が 0.62 割、「50 人以上 100 人未満の講義」が 1.34 割で、合計しても約 2 割である。調査項目が若干違っているとはいえ全国調査が 5 割を超えている点を考えると、本学は少人数での授業が徹底されていて、大きな特徴になっているといえる。

### 4. 授業内容の印象

これまで受けた授業が「授業内容に興味がわくように工夫されている」かについて「経験したか」「必要か」について回答を求めたところ、「経験したか」のうち「よくあった」と「ある程度あった」の合計は 84.5% に上っている。全国平均では 59.3% であることに比べると 25 ポイントも上回っている。教員の工夫・努力の跡がうかがえるものである。また、必要度に関しては、各項目に回答することを認識していない学生もあり無回答の者がいるが、「必要ではない」と回答したのは 0.7% しかなくほとんどの学生が必要であると考えていることがうかがえる。学生の授業への期待は大きなものがあるといえる。

「理解しやすいように工夫されているか」について上記項目と同様に回答を求めたところ、「経験したか」については 83.1% の学生が「あった」と回答し、全国平均の 65% に比べて 18 ポイント上回っている。必要度に関しては「必要ではない」と回答した学生は 0% であり、全国平均と同様で、回答者全員が「必要である」と認識していることになる。このことは、今後、教員のさらなる工夫・努力が求められている。

「TA などによる補助指導がある」について上記項目と同様に回答を求めたところ、「経験したか」については 34.5% の学生が「あった」と回答し、全国平均の 87.1% に比べて 52 ポイントも下回った結果になっている。また、必要度に関して「必要である」と回答した学生が 69.8% に上っているが、全国平均（86.2%）に比して 16 ポイント低い状況にもある。必要度に関しては約 18% の学生が必要ではないと回答しているが、全国状況や必要と考える学生の率をみても、本学での TA の活用をさらに研究し、増員する必要があるといえる。

「出席が重視される」について上記項目と同様に回答を求めたところ、「経験したか」については 87% の学生が「あった」と回答し、全国平均の 87.1% と同水準になっている。必要度に関しては「必要である」と回答した学生は 83.1% であり、全国平均の 86.2% を下回っているがほぼ同水準といえる。「必要ではない」との回答は 4.2% であり、全国（12.4%）と比較してみると 8 ポイントほど低くなっている。本学の学生は出席について重視することは当然ととらえている点は、実技を伴う音楽を専門に学んでいる学生の特性が出ているといえる。

「最終試験のほかに小テストやレポートなどの課題がだされる」について回答を求めたところ、「経験した」については 86.7% の学生が「あった」と回答し、「必要か」についても 85.2% の学生が必要と回答している。「経験した」については全国平均（89.2%）と比べて 4 ポイント低く、必要度についても本学の学生は全校平均（89.6%）と比べて 4.4 ポイント低い率になっている。単位認定に関しては全国の学生と同様に複数機会に評価され

ることを望んでいるといえる。

「適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却される」については「経験した」学生は 45%、「必要である」と回答した学生は 87.4%おり、経験した学生と必要であると回答した学生の比率に大きな隔たりがある。経験した学生の比率は全国平均（26.4%）に比べると約 19 ポイント高い。本学の教員の取り組みが進んでいるといえるが、学生の側から見たらまだまだ不十分であるといえる。今後の課題とする必要がある。

「授業中に自分の意見や考えをのべる」「グループワークなど学生が参加する機会がある」については、それぞれ 57.7%、61.2%の学生が経験しており一定程度の学生参加の授業が為されているといえる。学生の必要度はそれぞれ 84.5%、82.4%あり、学生の経験した割合は、「授業中に自分の意見や考えを述べる」については、全国平均（31.2%）に比べると高い状況にあるが、今後も一層の努力が必要である。

## 5. 授業に対する学生個人の取り組み

「興味がわからない授業でもきちんと出席する」に肯定的に回答した学生は 89.5%おり、全国調査（79.8%）に比べて 10 ポイントも高い結果になっている。また、「なるべくよい成績をとるようにしている」学生も 84.5%と全国調査（78.7%）より高くなっており、本学の学生が授業に対してまじめに出席し、良い成績をとるよう努力しているといえる。

本調査が教職課程をとっている学生を対象に実施したことや本来の音楽の専門性による特性が大きいと考えられる。

「グループワークやディスカッションに積極的に参加している」については肯定回答が 7 割あり全国平均（44.2%）に比して 25%程度高くなっている。将来、授業を自己の責任において行うことを期待されている教職を目指す学生の一つの特徴が出ていると判断できる。一方で、「先生に質問したり、勉強の相談をしている」学生や「必要な予習はした上で授業に臨んでいる」学生は、それぞれ 37.3%、24%と低い傾向にある。全国平均と比べても同様の傾向になっていることを考えると、授業への取り組みという点では課題の多い現状がある。

## 6. 大学での学び方

大学の学び方について「あなたの考えに近いものを選んでください」との設問で回答をしてもらったところ、「授業は自分で好きなようにとりたい」は 64.8%、「授業の意義や必要性を教えてほしい」が 59.1%、「授業の中で必要なことはすべて扱ってほしい」が 78.2%、「自分のレベルにあった授業をしてほしい」が 63.4%、「専門以外のことも広く学びたい」が 58.4%という結果出ている。全国平均ではそれぞれ 72.1%、61.5%、74.1%、65.4%、49.1%となっている。全体の傾向は全国平均と同様な傾向であるといえるが、「授業の取り方」については「自分で好きなようにとりたい」が 7 ポイント低く、「専門以外のことを広く学びたい」が 9 ポイント高い特徴がある。音楽の専門性からみるとこの点は意外な結果であるといえる。

## 7. 成績

成績について回答を求めたところ、成績 A が 4.96 割、成績 B が 3.76 割、成績 C が 1.26 割となっている。A がほぼ 5 割を占めている。全国平均に比べて 5 ポイントほど高い結果になっている。B についても同様であるので、成績分布は全体としてはやや上方になっているといえる。

## 8. 大学の授業への評価と学生自身の能力評価

将来の職業に関連する知識技能に授業が役に立っているかどうかの評価については「役に立っている」「まあ役に立っている」が 78.2%あるが、自分の実力に関して自己評価は「十分である」「まあ十分である」と回答したのは 25.4%と低い結果になっている。

全国調査ではそれぞれ 61.5%、16.8%となっており、全国と比較して音楽を専門とする本学の学生の意識は高いが、自己評価に関しては全国の学生同様の低さといえよう。

専門分野での知識・理解について授業が役に立っているかどうかの評価については、「役に立っている」「まあ役に立っている」が 88.7%あるが、自分の実力に関して自己評価は「十分である」「まあ十分である」と回答したのは 31.7%となっている。

全国調査ではそれぞれ 70.1%、20.9%となっており、全国と比較して音楽を専門とする本学の学生のポイントは高いが、自己評価に関しては前項と同様の結果になっている。

専門分野の基礎となるような理論的理解・知識について授業が役に立っているかどうかの評価については、「役に立っている」「まあ役に立っている」が 84.5%あるが、自分の実力に関して自己評価は「十分である」「まあ十分である」と回答したのは 33.1%となっている。全国調査ではそれぞれ 69.6%、24.8%となっており、全国と比較して音楽を専門とする本学の学生のポイントは高いが、自己評価に関しては前項と同様の結果になっている。

音楽大学など実技が伴う専門特有の「専門分野の技能」について授業が役に立っているかどうかの評価については、「役に立っている」「まあ役に立っている」が 86.6%あるが、自分の実力に関して自己評価は「十分である」「まあ十分である」と回答したのは 31.7%となっている。この項目は全国調査にはないので比較は困難である。専門分野での知識・理解についての回答とほぼ同じ結果になっている点は特筆できる。

論理的に文章を書く力について、これまでの授業経験が「役に立っている」「まあ役に立っている」が 55.6%ある。また、自分の実力に関して自己評価は「十分である」「まあ十分である」と回答したのは 26.7%となっている。全国調査ではそれぞれ 43.6%、26.3%となっており、この質問項目では全国平均とほぼ同水準になっている。音楽大学の学生が特に低い結果になっているわけではなく、今日の学生の一般傾向が表れているといえる。

人にわかりやすく話す力については、大学の授業が「役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて 52.1%となっており、全国平均（38.6%）に比べて高い結果になっているが、実力に関しては 28.2%と全国平均（25.7%）より高いがほぼ同様の結果になっている。

外国語の力については、大学の授業が「役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて 55.6%となっており、全国平均（36.6%）に比べて高い結果になっている。また実

力に関しても 21.8%と全国平均（17.4%）より高い結果になっているが実力は 8 割の学生が不十分であると自覚していることになる。今後、全国的にも学生の語学力アップが大学の課題といえる。

物事を分析的・批判的に考える力については、大学の授業が「役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて 55.6%になっており、全国平均（54.4%）に比べてほぼ同様な結果になっている。また実力に関しては 38%と全国平均（36.7%）より高い結果になっているがこれもほぼ同水準にあるといえる。全国調査における人社教芸に絞った統計ではそれぞれ 56.3%、38.1%となっている。この統計との比較でもほぼ同水準になっているといえる。

問題を見つけ、解決方法を考える力については大学の授業が「役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて 54.1%になっており、全国平均（51.2%）に比べて高い結果になっている。また実力に関しても 38.7%と全国平均（32.0%）より高い結果になっている。

幅広い知識、ものの見方については大学の授業が「役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて 74.6%になっており、全国平均（60.6%）に比べて 14 ポイントも高い結果になっている。また実力に関しても 45.8%と全国平均（35.6%）より 10 ポイント高い結果になっている。このことは、本学の学生が音楽を通じて社会へ発信し、幅広い活動を行うことによって得られていると考えられる。音楽大学の特性が出ているといえるのではないかな。

## 9. 大学への満足度

授業外での教員との接触については、61.2%の学生が「満足」または「ある程度満足」と答えている。全国平均（44.3%）より 16 ポイントも高い結果となっている。人社教芸に限ってみても、全国平均（52.9%）より 8 ポイント程度高くなっている。レッスン等を通じて教員との緊密な関係がなされていることが数値に出ている。

図書館などの学習施設に関しては、57.8%の学生が「満足」または「ある程度満足」と答え、全国平均（73.4%）より約 16 ポイントも低い結果となっている。人社教芸に限ってみると、全国平均（77.3%）より 20 ポイントも低い結果になっている。

実技レッスン・実習などの施設についての満足度については 55.6%の学生が「満足」または「ある程度満足」と答えている。音楽大学特有の質問項目としたので全国平均との比較はできないが、他の施設への満足度と同様な傾向を示している。

就職指導については、「満足」または「ある程度満足」との回答は 42.2%と、全国平均（50.4%）に比べて 8 ポイント低くなっている。人社教芸に限ってみると、全国平均（53.5%）より約 11 ポイント低い結果になっている。

学習・生活面でのカウンセリングについては、「満足」または「ある程度満足」との回答は 59.1%と、全国平均（49.7%）に比べて約 9 ポイント高くなっている。人社教芸に限ってみても、全国平均（51.4%）より約 8 ポイント高い結果になっている。しかし 4 割のぼる学生が不満に思っているといえる結果である。

学習以外の大学での経験については、「満足」または「ある程度満足」との回答は 56.4%

と、全国平均（60.8%）よりはやや低い傾向にある。人社教芸に限ってみても、全国平均（61.7%）より 5 ポイント低くなっている。音楽の専門以外の活動について不満があるのか検証する必要がある。

大学生活全般については、「満足」または「ある程度満足」との回答は 71.1%と、全国平均（71.1%）とまったく同様の結果になっている。人社教芸に限ってみても、全国平均（70.7%）と同様の傾向を示している。

## 10. 大学在学中の目標についてのどのようなことが重要か

「将来の職業に生かせる能力を身につける」については「重要でない」と回答して学生は 0%で、100%の学生が全国調査の結果と同様に、在学中の学習と職業が直結すると考えている。「もっとも重要」と「重要」と答えた学生の比率では、本学の学生は 77.5%になっている。全国平均（74.4%）より 3 ポイント上回っている。人社教芸に限ってみても、全国平均（72%）より約 6 ポイント高い結果になっている。

「資格試験・公務員試験などに合格する」ことが「もっとも重要」と「重要」と答えた学生は 45.1%になっている。全国平均（51.9%）より約 6 ポイント低くなっている。人社教芸に限ってみても、全国平均（52.4%）より約 7 ポイント低い結果になっている。本調査対象学生が教職課程選択学生である点を考えると、この設問に対する回答としては低い数値になっていると言わざるを得ない。資格取得に対する意識付けが課題である。

「専門分野の知識理解を深める」ことが「もっとも重要」と「重要」と答えた学生は 85.3%になっている。全国平均（76.2%）より約 9 ポイント高い。人社教芸の専門分野別に限てみると、全国平均（71.7%）より約 14 ポイントも高い結果になっている。また、「専門分野の技能を深める」ことについても 89.4%の学生が「もっとも重要」「重要」と回答しており、音楽を専門とする学生の特徴が顕著に表れている。

「広い教養ものの見方を身につける」ことが「もっとも重要」「重要」と答えた学生は 80.3%になっている。全国平均（75.5%）より約 5 ポイント高い。人社教芸の専門分野別に限てみても、全国平均（76.3%）より 4 ポイント高くなっている。

「自分の将来の方向を見つける」ことが「もっとも重要」「重要」と答えた学生は 83.1%になっている。全国平均（79.5%）より約 4 ポイント高い。人社教芸の専門分野別に限てみても、全国平均（81%）より 2 ポイント高い水準になっている。

「社会人になるまで時間をエンジョイする」ことが「もっとも重要」「重要」と答えた学生は 40.2%になっている。全国平均（58.4%）より約 18 ポイントも低い結果になっている。人社教芸の専門分野別に限てみても、全国平均（60.6%）より 20 ポイントも低い水準になっている。このことは、専門分野の知識理解を深めることや専門分野の技能を深めることに対する意識と連動した結果になっており、芸術（音楽）を専門とする本学の学生の特徴がよく出ている。

「有意義な人間関係を築く」ことが「もっとも重要」「重要」と答えた学生は 71.1%になっている。全国平均（75.4%）より約 4 ポイント低い。人社教芸の専門分野別に限てみても、全国平均（76%）より 5 ポイント低い結果になっている。理工系の学生の全国平均（73.2%）よりも 2%低い水準にある。全体として有意義な人間関係を重視する割合は

全国の学生に比べて若干低いものがある。

## 11. 大学の授業と学生自身との関係

「卒業後にやりたいことが決まっている」本学の学生は、「ある程度決まっている」「決まっている」を合わせて 69%になっている。全国平均（59%）に比べて 10 ポイント上回っている。人社教芸の専門分野別に限ってみると、全国平均（55.7%）より約 13 ポイントも高い結果になっている。

「学生のやりたいことと大学の授業が密接に関わっている」かどうかについては、本学の学生は、「ある程度あてはまる」「あてはまる」と回答した学生は合わせて 69%になっている。全国平均（53.7%）に比べて 15 ポイント上回っている。人社教芸の専門分野別に限ってみると、全国平均（46.7%）より約 22 ポイントも高い結果になっている。

「授業を通じてやりたいことを見つけないか」かどうかについては、本学の学生は、「ある程度あてはまる」「あてはまる」と回答した学生は合わせて 62%になっている。全国平均（64.6%）に比べて 2.6%低くなっている。人社教芸の専門分野別に限ってみると、全国平均（64.3%）より 2.3%低い結果になっている。このことは「卒業後にやりたいことが決まっている」「授業とやりたいことが密接になっている」ことの裏返しの結果であるといえる。

## 12. 卒業後の進路についての希望

複数回答可で調査したところ、本学の学生の希望の 1 位は教員、2 位は音楽関係の企業に就職、3 位は演奏家、4 位は大学院進学の順になっている。

本調査が教職課程選択履修者を対象に行ったことを反映して、教員になることを希望している学生は、大学入学時に 54.9%、入学後調査時点で 49.3%いる。

音楽関係の企業に就職する希望を持っている学生は入学時 53.5%、入学後は 45.8%いる。

演奏家になる希望を持つ学生は、入学時 35.9%、入学後調査時点 35.2%と希望が変化していない。

海外を含む大学院に進学する希望を持つ学生は、入学時 24.6%、入学後 23.3%とこれも変化をしていない。

何も決めていない学生が入学時 8.5%、入学後の調査時点で 10.6%いることにも注視する必要がある。

## 13. 就職する上で何が重要か

「どの大学を出たかということ」が「ある程度重要」「極めて重要」と答えた学生は 71.8%おり、全国調査（68.3%）を上回る数値を示している。人社教芸に限ってみても全国調査は 68.6%となっていて、本学の学生は 3 ポイント程度高い数値を示している。出身大学の重要性を認識している傾向が強いと推測できる。

「どの分野を専攻したかということ」が「ある程度重要」「極めて重要」と答えた学生は

88.7%おり、全国調査（84.7%）を4ポイント上回る数値を示している。人社会芸に限っていても全国調査は81.7%となっており、本学の学生は7ポイントも高い数値を示している。音楽大学の専門性を認識している傾向が強いと推測でき、音大生の特徴を示している。

「個人としての能力」が「ある程度重要」「極めて重要」と答えた学生は99.3%おり、全国調査（97.9%）を1.4ポイント上回る数値を示している。人社会芸に限ってみると全国調査は98.7%となっており、本学の学生は若干高い数値を示しているが、この点については専攻を問わずすべての学生が「個人の能力」を重視しているといえる。

#### 14. 仕事にどのようなことを望むか

「チームで仕事をして成果を分かち合う」か「個人の努力が成果に結びつく」仕事を望むかについては、44.4%の学生がチームを選択している。全国調査（55.6%）と比較すると約11ポイントも下回っている。人社会芸に限っていても54.5%、理工農についても54.5%あり、本学の学生が個人の努力を重視していることがうかがえる。

「あらかじめ決められたこと」か「新しいことを生み出す」仕事を望むかについては、「新しいことを生み出す」について62.7%の学生が回答している。全国調査（55.6%）と比較して7ポイント上回っている。人社会芸に限っていても56.7%になっており、音楽を選択した学生の特徴が出ているといえる。

「年齢給や経験給」か「個人の業績や能力給」の仕事を望むかについては、67.6%の学生が「個人の業績や能力給」を望んでいる。全校調査（65%）に比べて約3ポイント上まわっている。人社会芸については65.9%であり、若干上回っている。

「残業が多くてもキャリアアップできる」か「残業が少なく自分の時間が持てる」仕事かについて、70.4%の学生が「残業が少なく自分の時間が持てる」仕事を望んでいる。全国調査でも69.6%の学生が同様の望みを持っている。「残業が多くてもキャリアアップできる」学生は少数であるといえる。

「一つの仕事で専門家になること」か「いろいろな仕事を幅広く経験できる」仕事かについて、52.1%の学生が「一つの仕事で専門家になること」仕事を望んでいる。全国調査でも52.9%の学生が同様の望みを持っている。「一つの仕事で専門家になること」か「いろいろな仕事を幅広く経験できる」かについては、専門家志向がやや強いとはいえ音大生としての志向としてこれで良いかどうかという課題がある。

#### 15. 大学卒業後のキャリアについて

「すぐ就職して最初から正社員・正規の職員になる」について「そう思う」「ある程度そう思う」が73.9%を占める。全校調査では85.5%を占めている。本学の学生は約12ポイント下回っている。「そう思う」に限定してみると、本学の学生は22.5%、全国調査は44.5%になっており、20ポイントの開きがある。すぐに定職に就くのではなく、本来の音楽の道を追求したい気持ちが端的に表れていると推測できる。

このことは「すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない」という回答にも表れている。「そう思う」「ある程度そう思う」が67.8%を占め、全校調査（38.2%）に比べ

て実に 30 ポイントも高い数値を示している。

「すぐに大学院などに進学する」は「そう思う」、「ある程度そう思う」が 47%となっている。全国調査では 44.4%であるので 3 ポイント高い結果になっている。

「就職してから大学院への進学を考える」については、7 割の学生が「そうは思わない」と回答し、全国調査でもほぼ同じ回答になっている。

「一定期間、演奏家等音楽の専門家としての道を追求していく」については約 17%が「そう思う」と回答している。「ある程度思う」が 45.1%おり、あわせて 62%の学生が「音楽の道で生きていきたい」と望んでいることになる。一方で約 34%の学生は「そうは思わない」と回答している。

「資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない」学生は、確定的に考えている「そう思う」が 2.8%いる。「ある程度そう思う」(23.9%)を加えると 26.7%の学生が公務員等を視野に入れている。全国調査(32.1%)より約 5 ポイント下回っている。

「卒業後すぐに就職しなくても良い」について 9.2%が「そう思う」と回答し、「ある程度そう思う」も 35.9%いる。全国調査(それぞれ 6%、24.5%)に比べると合計で実に 20 ポイントも高くなっている。

「最初の就職先にできるだけ長く勤める」については、「そうは思わない」学生が 21.8%いる。全国調査(15%)に比べて約 6 ポイント高い。

「何年かして転職や独立する」については、「ある程度思う」「そう思う」で 52.1%の学生が転職や独立を考えていることになる。全校調査(55.2%)に比べて 3 ポイント低くなっているが、専門を問わず転職や独立志向が高いことになる。

「出産したら仕事を辞める(女性のみ)」については「そう思わない」が 66.7%いる。全国調査(56.5%)より 10 ポイントも高くなっている。音楽の専門性の表れかと推測できる。「ある程度そう思う」については、全国調査(31%)とほぼ同じ(30.9%)であることを考えると「そう思う」と「そう思わない」の差は全校調査より高いことを示している。

## 16. 17. 一週間の日常生活について

### ○学期中の過ごし方

「大学にどの程度来ているか、授業への出席は」については、大学に来ている日数は 4.79 日、授業への出席率は 8.89 割で、全国調査(それぞれ 4.66 日、8.74 割)に比べて高い結果になっている。

「授業への出席」については、週 21 時間を超える学生は 28.2%であり、全国調査(36%)に比べて意外に低い結果になっている。

「授業の課題・準備・復習」時間は 1～5 時間が 30.3%、6～10 時間が 18.3%、11～15 時間が 14.1%となっており、全国調査ではそれぞれ 51.4%、17.3%、7.0%いる。

16 時間以上の比率をみると本学の学生は 29.9%、全国調査では 7.5%という結果になっている。実習(レッスン)へ向けての練習量の差が出ているのではないかと推測できる。

「サークル活動への参加」については 50%の学生が参加していない実態がある。全国調

査でも 45.7%の学生が参加していない。

アルバイトについては約 3 割の学生がしていない。1～5 時間の学生を含めると 48.6%の学生になる。全国調査でも 47.1%の学生が 5 時間以下であり、本学の状況とほぼ同じ結果になっている。

ボランティア活動については、16.2%の学生が行っているが、65.5%の学生は何もしていない状況にある。

#### ○休暇中の過ごし方

学習については、11.3%の学生が 0 時間、33.1%の学生が 1～5 時間以下の学習時間になっている。全国調査ではそれぞれ 22.4%、42.5%となっている。

サークル活動については、約 6 割の学生がなにも関わっていない。全国調査でも 48.5%となっており、休暇中の活動に 5 割前後の学生がサークル活動を行っていない実態が見える。

休暇中のアルバイトについては 59.2%の学生が行っている。全国調査でも 64.3%の学生が就業している。本学の学生は 10.5%、全国の学生平均では 19%にのぼる学生が週に 20 時間以上働いている実態もある。

### 18. マンガを除く 1 ヶ月の読書量

読まないという回答が 26.8%、1 冊が 32.4%、2 冊が 20.4%という結果である。全国平均は、読まないが 29.5%、1 冊が 28.7%、2 冊が 16.9%になっている。読まない学生が 2.7%低い結果になっているが 4 冊以上読む学生は 7%しかいない事実もある。

### 19. どのような友達とよく話をするか

良くあると回答したのは、同じ専攻の友達が最多で 84.5%、次いでクラス・研究室の友達が 64.8%、サークルの友達は 35.2%、上記以外の友達 49.3%である。サークルの友達とほとんど話したことがない学生が 4 割を超えているのは、サークルに参加していないためであることが推測できる。

### 20. 学生の住まい

居住形態を確認したところ、賃貸アパート・マンションが 58.5%で最多、次が自宅が 35.2%、この二つで 93.7%にのぼる。全国調では自宅が 52.3%で賃貸アパート・マンションは 40.6%となっている。本学の学生の出身地が首都圏以外に分散していることがわかる。

### 21. 一か月の生活費をどのように賄っているか

平均すると、両親等から約 4 万円、奨学金約 1.7 万円、アルバイト・給与約 1.9 万円の

合計約 7.6 万円で生活していることになる。全国調査ではそれぞれ約 4.1 万円、約 2.2 万円、約 4.1 万円であり、1 か月平均約 10 万円を超えている。本学の学生はアルバイトで賄う金額を抑えている分だけ全国平均より少ない金額で生活しているといえる。

## 22. 授業料はどのように賄っているか

両親等から 85.8%、奨学金から 12.3%、アルバイト・給与から 1.7%、その他から 0.2% となっている。全国平均ではそれぞれ 84.9%、14.2%、3.7%、2.2%となっており奨学金とアルバイトが原資になっている率が本学学生より高い。

## 23. 中学・高校での経験について

「中学生の頃の成績」については、中の上以上の成績上位者が 54.2%いる。全国平均では、64.4%おり、10 ポイント程度低い結果になっている。人社教芸でみると 58.6%であるので、この分野の平均より 4 ポイント低い。

「高校 1 年の頃の進路希望」については、大学進学が 80.3%にのぼっている。全国平均 (78.2%) より 2 ポイント高い。次に多いのは「考えていなかった」が 13.4%になっており、全国平均でも 10.6%になっている。

「高校 3 年次の一日の勉強時間」については、一日 3 時間以上の学生は 37.3%で、全国平均 (56.7%) に比べると約 19 ポイント低い水準になっている。実技の練習時間を勉強時間に入れていないことが考えられるので一概に本学の学生の勉強時間が低いとはいえない面もある。

「大学入学検定」と「高卒程度認定試験」を受けた経験のある学生はそれぞれ 4.2%、1.4%いる。全国調査では 10.1%の学生が「大学入学検定」を受けており、6 ポイント程度の差がある。

## 24. 出身高校について

公立高校が 66.2%を占めている。次いで私立高校が 31.7%いる。全国調査でも公立 66%、私立 28.3%とほぼ同様の傾向である。

出身高校の学科については、普通科が 76.8%、専門学科 (音楽) 19%、総合学科 1.4% になっている。全国調査でも普通科が 86.2%で最多になっているが、専門学科は 8.6%と低い水準にある。総合学科は 2.4%ある。本学が音楽の単科大学であることが専門学科の出身者の多い理由と推測できる。

## 25. 高校卒業から現在までに体験したこと

高卒後他の高等教育機関に入学した経験者は 8.5%いる。全国調査では 24%もおり、約 16 ポイントも低い状況になっている。

高卒後フルタイムで働いた経験者は 1.4%いる。全国調査では 3.4%おり 3 ポイント本学

の学生は低い。

高卒後浪人経験者は 9.9%おり、全国調査（14.1%）に比べて約 4 ポイント低い状況にある。

大学入学後に休学経験者は本調査ではいなかった。全国調査では 2%おり、本学でも休学者はいるので、調査対象者が教職選択者であったことが影響している可能性がある。

## 26. 大学合格時の入試形態と志望順位

入学形態については、AO を含む推薦入試で合格した学生が 77.5%を占めている。次に個別の一般入試で 21.8%となっている。全国調査では個別の一般入試が 61%、推薦入試が 34.8%になっており真逆の関係になっている。本学の AO 入試の回数に比例したものになっているといえる。

志望順位については、第一志望が 74.6%、第二志望が 16.9%になっている。全校調査では第一志望が 56%、第二志望が 18.4%になっているので、第一志望での合格者が全国調査より約 19 ポイント高い結果を示している。

## 27. 学生の年齢、出身地について

回答者の平均年齢は 20.9 歳で、86.6%が女性である。出身地は日本が 98.6%を占めている。全国調査ではそれぞれ 20.37 歳、47.3%、95.5%となっている。音楽大学の特徴として女性が圧倒的に多くなっている状況がある。一般の大学より外国籍の学生が少ないといえる。

## 28. 保護者の最終学歴について

父親については、大学が 46.5%、次いで高校までが 32.4%になっている。全国調査では、大学 46.1%、高校まで 33.5%とほぼ同じ結果になっている。

母親については、高校までが 36.6%、次いで大学が 23.9%、専門学校・短大が 32.4%となっている。全国調査では高校まで 38.4%、大学が 23.8%、専門学校・短大が 27.7%となっており、本学の保護者の母親は「高校まで」の方が全国平均より若干少ない。

## 29. これまでに感じたり思ったりしたこと

「生活に熱意がわからない」については、「時々ある」41.5%、「よくある」7%であった。全国平均はそれぞれ 43.8%、12.4%であるので低い状況にはあるが課題はある。全国の状況においても専門分野間の違いはない。

「友達のことで悩みがある」については「時々ある」41.5%、「よくある」12%であった。全国平均はそれぞれ 33.8%、9%である。全国平均より合計で 11 ポイントも高いことについては検証する必要がある。

「先生のことで悩みがある」については、「時々ある」21.1%、「よくある」6.3%であっ

た。全国平均はそれぞれ 15.5%、4.9%である。全国平均より合計で約 7 ポイントも高いことについては検証する必要がある。

「授業内容についていけない」については、「時々ある」33.8%、「よくある」6.3%であった。全国平均はそれぞれ 37.8%、11.5%である。全国平均よりそれぞれ低い数値であるが約 4 割の学生が「時々あるか」「よくある」と回答していることになり一層の授業改善の努力の必要がある。

「授業に興味・関心がわからない」については、「時々ある」45.1%、「よくある」4.9%である。全国平均はそれぞれ 45.1%、16.7%である。全国平均より「よくある」率が約 12 ポイント低い状況にある。

「進級や卒業ができるか心配」については、「時々ある」21.1%、「よくある」24.6%である。全国平均はそれぞれ 29.7%、24%である。全国平均より「時々ある」率が約 9 ポイント不安を感じている学生が少ない。

「他の学科・学部・大学や学校に入りたい」については、「時々ある」21.1%、「よくある」7%である。全国平均はそれぞれ 22.6%、11.8%である。全国平均より「よくある」率が約 5 ポイント低い。一般大学より大学選択のミスマッチが少ないといえる。

「大学を辞めたい」については、「時々ある」9.9%、「よくある」4.2%である。全国平均はそれぞれ 13.1%、4.6%である。全国平均より「時々ある」率が約 3 ポイント低い。

「経済的に勉強を続けることが難しい」については、「時々ある」25.4%、「よくある」6.3%である。全国平均はそれぞれ 10.1%、2.7%である。全国平均より「時々ある」率が約 15 ポイントも高く、「よくある」率も約 4 ポイント高い状況にある。学費で苦しむ学生が一定程度存在している現実がある。

「周りの学生がやる気がない」については、「時々ある」30.3%、「よくある」13.4%である。全国平均はそれぞれ 28.3%、11.8%である。全国平均よりそれぞれ約 2 ポイント高い状況にある。

「やりたいことが見つからない」については、「時々ある」23.9%、「よくある」8.5%である。全国平均はそれぞれ 29.8%、16.6%である。全国平均より合計で 14 ポイント低い状況にある。音楽の専門性があるためと推測できる。

「就職活動が思い通りに行かない」については、「時々ある」23.9%、「よくある」21.8%である。全国平均はそれぞれ 16%、8.6%である。全国平均より合計で 21 ポイント高い状況にある。就職へ不安を抱える学生が 45.7%もいる状況は本学の大きな課題といえる。

「卒業後の進路に悩みがある」については、「時々ある」28.2%、「よくある」47.2%である。全国平均の統計はないが、音楽で生きる道を模索する学生の苦悩が表れていると解せる。

### 30. 大学への評価

「専門分野の理論を深く教育する」については、「ある程度成功している」「成功している」を合わせた現在の評価は 83.1%である。全国調査では 77.9%であり、本学は全国平均より約 5 ポイント高い評価を得ている。人社教芸でみても全国平均（76.3%）より約 7 ポイント高い評価になっている。また「専門分野の技能を深く教育する」については「ある

程度成功している」「成功している」を合わせた評価は 89%ある。当然のこととはいえ、音楽の専門教育については高い評価を得ているといえる。

「職業に役立つ教育を行う」については、「ある程度成功している」「成功している」を合わせた現在の評価は 56.3%である。全国調査では 62.5%であり、本学は全国平均より約 6 ポイント低い評価になっている。人社教芸でみても全国平均 (60.2%) より約 4 ポイント低い評価になっている。この点は本学の課題といえる。

「専門の基礎をなす基本的な知識や考え方を教育する」については、「ある程度成功している」「成功している」を合わせた現在の評価は 81.7%である。全国調査では 82.3%であり、本学は全国平均とほぼ同水準の評価になっている。人社教芸でみても全国平均 (81.6%) と同水準の評価になっている。

「専門にこだわらない、幅広い教育を行う」については、「ある程度成功している」「成功している」を合わせた現在の評価は 62.7%である。全国調査では 73.9%であり、本学は全国平均より約 11 ポイント低い評価になっている。人社教芸でみると全国平均 (76.7%) よりさらに低く、約 14 ポイントも低い結果になっている。将来の在り方を同様に聞いたところでは、「ある程度重要」「極めて重要」の合計が 88.8%になっており、全国平均 (90.1%) とほぼ同様な結果になっている。「専門にこだわらない、幅広い教育を行う」ことは、音楽を専門とする本学にとってどう受け止めたらいかが課題といえる。

### 31. ～39.「教育課程の科目を履修した理由」や「教育実習に臨むに当たっての自分自身の現状と課題」について

31 の「教職課程の科目を履修した理由」では、25%の学生が「教員になることを希望しているから。」と回答しているが、60%の学生は「教員になるかどうか未定だが、教員免許状を取得しておくこと、将来、役立つと思うから。」、15%の学生は「短大進学のための条件として親と約束したから。」と回答している。

全体の 4 分の 3 の学生は消極的な理由で教職課程の科目を履修している。

33 の「教育実習で（あるいは教員になって）音楽の授業を行う際に必要な知識・技能は何か。」に対して、全体の 20～30%の回答があったものは、「ピアノの技能」34%、「幅広い音楽的知識・理解」29%、「歌唱の技能」25%、「授業力」17%である。しかし、35 の「教育実習（あるいは教員採用試験）に臨む上で、自らの知識や実技技能に不安を感じていることは何か。」に対して、「西洋及び日本の音楽史」「日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽」「学習指導要領」等に関する知識、「ピアノ」「聴音」等の実技能力、「文章表現」「生徒指導」等の教員に求められる能力など、大変に多くの項目について、それぞれ 50%を超える学生が「不安」と回答している。

これらの回答結果から、多くの学生が、教育実習に望むに当たって「必要である」と感じている事柄のすべてにおいて「不安を感じている」ということが分かる。

34 の「教育実習（あるいは教員採用試験）に向けて、すでに力を入れて取り組んでいることは何か。」に対して、「ピアノの練習（大学の主科や副科における練習以外）」が全体の 11%の回答があったものの、ピアノ以外の取組みについてはごく小人数の回答しか得られなかった。

教育実習等に向けて、必要性や不安を感じている事柄が多くありながら、それらへの対応をしていない学生が多くいることが分かる。

36の「教育実習（あるいは教員採用試験）に望む上で、実技面（ピアノや歌唱）に不安を感じている人は、それらの練習をどの程度行っているか」については、解答した学生の専攻別に回答の内容（練習時間等）を読み取る必要があり、調査結果を正確に分析することは難しい。しかし、教育実習や教員採用試験に臨んでは、専攻の如何にかかわらず、ピアノや歌唱の能力が必須のものであることは確かであり、ピアノや声楽を専攻しない学生であるからこそ、むしろ、自らの技能の程度に応じた十分な取組みを行う必要がある。

36の結果を見ると、「ピアノの取組み」については、ピアノ専攻以外の学生の89%がピアノの練習に取り組んではいるものの、その内の45%が1日当たり30分程度以下、37%が30分以上60分以下という結果であった。全く練習をしていない学生も11%程度あった。

また、「歌唱の取組み」については、声楽専攻以外の学生の49%が歌唱の練習に取り組んではいるものの、その内の79%が30分程度以下、30分以上が16%、全く練習をしていない学生が51%あった。しかも、37の「教育実習（あるいは教員採用試験）に臨んでは、ピアノや歌唱の実技技能を十分に身に付けていることが重要であるが、その点に関しての意識はどうか。」に対して、全体の86%が「意識している」と回答している。

この結果から、自らが不安を感じ、重要性についても認識はしていながら、実際には、それらへの取組みを十分に行っていない学生が多数いることが分かった。

31及び33から37において、教職課程履修学生の教育実習（あるいは教員採用試験）に臨む上での現状と課題について改めて確認することができた。

今後、教科教育法などの音楽科指導法にかかわる授業においてどのような視点で授業構築を行っていったらよいかという点について、ここまで触れていなかった32、38及び39の回答をもとに対策を考えてみたい。

32（1）の「教員になることを希望している一番の理由は何か。」については、31で、全回答者の中から「教員になることを希望」と回答した25%の学生の内、「教員という職業に魅力を感じているから」が49%、「音楽の素晴らしさを子どもたちに伝えたいから」が41%で、これらが特に割合の多い項目であった。

この結果を、教職課程科目の履修を消極的な理由で行っている学生の“意識向上”の視点からとらえ直してみると、「授業の中で、教職の魅力や意義を学生に存分に伝えられる内容」の設定を重視することがポイントであるのとらえることができる。そこで、例えば、現職教員を招聘し、体験に基づく講話により、生徒たちとの触れ合いや喜びなど、教職の魅力を学生に実感させたり、DVD教材を充実させ、学校行事における音楽科教師の活躍の様子や音楽授業、部活動等での生徒との交流などについて具体的にとらえさせたりすることが効果的であろう。そして、こういった内容を中心とした授業で、学生の教職に対する意識を十分に高めた後に、例えば、学習指導要領や評価といった知識・理解に関する内容を扱うようにすれば、円滑な授業展開が行われるのではないかと推察できる。

32（2）の「教員採用試験受験に対する姿勢はどうか。」について、教員になることを希望した学生の内70%が「1回で合格しなくても、可能な限り受験して希望を達成したい。」と回答している。このような、初志貫徹の意識が高く、学習意欲も十分にもっている

学生に対しては、授業の内外を問わずに教員採用試験合格への支援をするとともに、授業においても「教員採用試験への具体的な対応」を考えて内容構成を再検討することが学生のニーズに応えることになる。

このことを検討する上で留意すべき具体的な内容が、38 と 39 の回答に挙げられている。38「ピアノや歌唱の能力を伸ばすために、教科教育法などの授業で取り入れてほしい内容は何か。」では、「弾き歌いの機会を増やしてほしい」「歌唱・合唱指導等の実践的指導法を多く行いたい」「模擬授業の機会を増やしてほしい」「和声や楽典等の音楽的知識を充実させたい」が比較的多数の回答であり、39「教育実習（あるいは教員採用試験）に臨み、これまでに学んだ授業内容で役立ちそうなものは何か」では、「ピアノの伴奏法」「模擬授業」「ピアノや声楽のレッスン」が特に目立った回答であった。学生の回答から得られたこれらの事項を、「教科教育法」の授業展開に具現化することにより、学生の教職課程を履修する前向きな姿勢につながる。そのためには、今回の調査でとらえることができた学生の実態や意識を前提とし、授業改善のための具体的方策の研究をさらに進める必要がある。

#### 参考引用文献

全国大学学生調査 第1次報告書 2008年5月 東京大学大学院教育研究科  
大学経営・政策研究センター

# 学生アンケート調査結果 (平成 21 年 10 月実施)

○ 回答総数 142 (学部・短大)

問 1 大学に入ってから次のような経験はありますか、またそれは有用でしたか。

|                          | 経験した       |               |           |              | 経験して<br>いない |
|--------------------------|------------|---------------|-----------|--------------|-------------|
|                          | 有用では<br>ない | どちらとも<br>言えない | 有用であ<br>る | 非常に<br>有用である |             |
| フレッシュマンセミナー              | 0          | 0.7           | 3.5       | 0            | 95.1        |
| 高校での未習科目を学ぶための補習的な科目     | 1.4        | 2.1           | 4.2       | 1.4          | 90.1        |
| 大学での勉強の方法（スタディ・スキル）を学ぶ科目 | 0.7        | 5.6           | 10.6      | 2.1          | 80.3        |
| インターンシップ（教育実習を含む）        | 4.2        | 1.4           | 24.7      | 27.5         | 41.5        |
| 他大学での聴講                  | 0.7        | 0.7           | 2.1       | 2.8          | 93.0        |
| 留学                       | 0          | 0.7           | 0         | 5.6          | 93.0        |

問 2 あなたにとって意味があったと思う授業を思い出してください。

A それはこれまで受けた授業の何割くらいですか。教養・共通科目、専門教育、実技教育、資格課程関係科目の別にお答えください。

|                  |                  |                    |
|------------------|------------------|--------------------|
| 教養・共通教育の（ 4.9 ）割 | 専門教育の（ 6.3 ）割    | 実技教育（ 7.0 ）割       |
| 教職課程科目の（ 5.9 ）割  | 学芸員課程科目の（ 4.6 ）割 | 社会教育主事課程科目（ 4.3 ）割 |

B それらの授業に当てはまる特徴はどんなことですか。いくつでも可

|   |                             |      |
|---|-----------------------------|------|
| 1 | 最先端の研究成果を披露してくれた            | 7.0  |
| 2 | 確実に学問の基礎を教えてくれた             | 40.9 |
| 3 | 社会や現実との関わりから学問の意義を教えてくれた    | 28.9 |
| 4 | 将来役に立つ実践的な知識を教えてくれた         | 65.5 |
| 5 | 実技技能向上におおいに役にたった            | 66.9 |
| 6 | 資格の取得に役立つ情報やテクニックを教えてくれた    | 26.8 |
| 7 | 教え方がうまかった                   | 38.0 |
| 8 | 自分自身や将来やりたかったことを考えるきっかけになった | 50.0 |

問 3 これまで受けた授業形態について、全体が 10 割になるように（ ）に割合を数値でお答えください。

|             |                    |            |           |          |          |
|-------------|--------------------|------------|-----------|----------|----------|
| 講義（100 人以上） | 講義(50 人以上 100 人未満) | 講義（50 人未満） | 演習・ゼミ     | 実習       | レッスン     |
| （ 0.62 ）割   | （ 1.34 ）割          | （ 3.42 ）割  | （ 0.64 ）割 | （ 1.1 ）割 | （ 2.9 ）割 |

問 4 これまで受けた授業では下記のようなことがどれくらいありましたか。またそれは必要ですか。

|                              | 経験したか        |             |             |           | 必要か        |            |           |
|------------------------------|--------------|-------------|-------------|-----------|------------|------------|-----------|
|                              | ほとんど<br>なかった | あまり<br>なかった | ある程度<br>あった | よく<br>あった | 必要で<br>はない | ある程度<br>必要 | 非常に<br>必要 |
| 授業内容に興味がわくよう工夫されている          | 0            | 13.4        | 77.5        | 7.0       | 0.7        | 27.5       | 59.9      |
| 理解がしやすいように工夫されている            | 1.4          | 12.7        | 75.4        | 7.7       | 0          | 17.6       | 70.4      |
| T Aなどによる補助的指導がある             | 23.2         | 39.4        | 30.3        | 4.2       | 17.6       | 61.3       | 8.5       |
| 出席が重視される                     | 2.1          | 6.3         | 49.3        | 38.0      | 4.2        | 53.5       | 29.6      |
| 最終試験のほかに小テストやレポートなどの課題が出される  | 0.7          | 9.2         | 57.8        | 28.9      | 3.5        | 71.8       | 13.4      |
| 適切なコメントなどが付されて課題などの提出物が返却される | 11.3         | 39.4        | 40.1        | 4.9       | 2.1        | 42.3       | 45.1      |
| 授業中に自分の意見や考えを述べる             | 11.3         | 28.9        | 50.7        | 7.0       | 4.2        | 64.1       | 20.4      |
| グループワークなど学生が参加する機会がある        | 9.2          | 26.8        | 54.9        | 6.3       | 5.6        | 59.2       | 23.2      |

問 5 あなた自身は、授業に対してどのように取り組んでいますか。

|                             | あてはまら<br>ない | あまりあて<br>はまらない | ある程度あ<br>てはまる | あてはまる |
|-----------------------------|-------------|----------------|---------------|-------|
| 興味がわからない授業でもきちんと出席する        | 2.8         | 7.7            | 41.6          | 47.9  |
| なるべく良い成績をとるようにしている          | 2.8         | 12.7           | 50.7          | 33.8  |
| グループワークやディスカッションに積極的に参加している | 3.5         | 26.1           | 53.5          | 16.9  |
| 先生に質問したり、勉強の仕方を相談したりしている    | 14.8        | 47.9           | 35.2          | 2.1   |
| 必要な予習や復習はした上で授業に臨んでいる       | 14.8        | 59.2           | 23.9          | 2.1   |

問 6 大学の学び方について、あなたの考えに近いものを選んでください。

| A                      | ← Aに近い      Bに近い→    | B                    |
|------------------------|----------------------|----------------------|
| 授業の取り方があらかじめ決まっている方が良い | ① 8.5②26.8③37.3④27.5 | 授業は自分で好きなようにとりたい     |
| 授業の意義や必要性を教えてほしい       | ①16.9②42.3③26.1④14.8 | 授業の意義や必要性は自分で見だしたい   |
| 授業の中で必要なことはすべて扱ってほしい   | ①26.1②52.1③17.6④ 3.5 | 授業はきっかけで、あとは自分で学びたい  |
| 自分のレベルにあった授業をしてほしい     | ①16.9②46.5③28.9④ 7.7 | 授業は難しくてもチャレンジングな方が良い |
| 専門以外のことも広く学びたい         | ①21.1②37.3③29.6④12.0 | 専門分野を深く学びたい          |

問 7 あなたの成績について教えてください。

|              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| A ( 4.96 ) 割 | B ( 3.76 ) 割 | C ( 1.26 ) 割 |
|--------------|--------------|--------------|

問 8 次の点で大学の授業は、どのくらい役に立っていると思いますか。また自分の実力はどの程度あると思いますか。

|                       | これまでの授業経験は              |        | 自分の実力は               |    |
|-----------------------|-------------------------|--------|----------------------|----|
|                       | 役立っていない                 | 役立っている | 不十分                  | 十分 |
| 将来の職業に関する知識や技能        | ① 4.2 ②17.6 ③45.1 ④33.1 |        | ①17.6②54.9③25.4④ 0   |    |
| 専門分野での知識・理解           | ① 1.4 ② 9.9 ③47.9 ④40.8 |        | ①17.6②47.2③31.0④ 0.7 |    |
| 専門分野の基礎となるような理論的理解・知識 | ① 2.1 ②12.7 ③47.2 ④37.3 |        | ①16.9②47.2③31.7④ 1.4 |    |
| 専門分野の技能               | ① 2.1 ②10.6 ③33.1 ④53.5 |        | ①21.8②44.4③31.0④ 0.7 |    |
| 論理的に文章を書く力            | ① 9.2 ②34.5 ③38.7 ④16.9 |        | ①23.9②46.5③24.6④ 2.1 |    |
| 人に分かりやすく話す力           | ①13.4 ②34.5 ③36.6 ④15.5 |        | ①23.9②45.8③26.1④ 2.1 |    |
| 外国語の力                 | ①11.3 ②33.1 ③36.6 ④19.0 |        | ①36.6②40.1③20.4④ 1.4 |    |
| 物事を分析的・批判的に考える力       | ①10.6 ②33.1 ③40.1 ④15.5 |        | ①11.3②48.6③36.6④ 1.4 |    |
| 問題を見つけ、解決方法を考える力      | ① 9.2 ②27.5 ③50.0 ④14.1 |        | ①15.5②43.7③37.3④ 1.4 |    |
| 幅広い知識、ものの見方           | ① 6.3 ②19.0 ③52.8 ④21.8 |        | ①14.8②38.0③43.0④ 2.8 |    |

問 9 あなたの大学について次の点でどのくらい満足していますか。

|                   | 不満   | ある程度不満 | ある程度満足 | 満足   |
|-------------------|------|--------|--------|------|
| 授業外での教員との接触       | 4.2  | 24.7   | 59.2   | 12.0 |
| 図書館などの学習施設        | 14.1 | 28.2   | 44.4   | 13.4 |
| 実技レッスン・実習などのための施設 | 16.9 | 27.5   | 38.0   | 17.6 |
| 就職指導              | 26.1 | 31.0   | 38.7   | 3.5  |
| 学習・生活面でのカウンセリング   | 11.3 | 28.2   | 56.3   | 2.8  |
| 学習以外の大学での経験       | 10.6 | 33.1   | 43.7   | 12.7 |
| 大学生活全般            | 4.9  | 23.9   | 53.5   | 17.6 |

問 10 大学在学中の目標として、どのようなことが重要ですか。

|                    | 重要でない | 少し重要 | ある程度重要 | 重要   | もっとも重要 |
|--------------------|-------|------|--------|------|--------|
| 将来の仕事に活かせる能力を身につける | 0     | 6.3  | 16.2   | 41.6 | 35.9   |
| 資格試験・公務員試験などに合格する  | 1.4   | 14.8 | 38.7   | 34.5 | 10.6   |
| 専門分野の知識・理解を深める     | 0     | 2.1  | 12.7   | 43.0 | 42.3   |
| 専門分野の技能を深める        | 0     | 2.8  | 7.0    | 36.6 | 52.8   |
| 広い教養、ものの見方を身につける   | 0.7   | 2.1  | 16.9   | 51.4 | 28.9   |

|                    |     |      |      |      |      |
|--------------------|-----|------|------|------|------|
| 自分の将来の方向を見つける      | 0   | 2.8  | 13.4 | 43.0 | 40.1 |
| 社会人になるまで時間をエンジョイする | 7.0 | 14.1 | 38.7 | 26.8 | 13.4 |
| 有意義な人間関係を築く        | 0.7 | 8.5  | 19.7 | 36.6 | 34.5 |

問 11 大学の授業とあなたの関係についてどう思いますか。

|                         |               |                |               |             |
|-------------------------|---------------|----------------|---------------|-------------|
|                         | 全く<br>あてはまらない | あまり<br>あてはまらない | ある程度<br>あてはまる | よく<br>あてはまる |
| 卒業後にやりたいことは決まっている       | 6.3           | 24.6           | 48.6          | 20.4        |
| 大学での授業はやりたいことに密接に関わっている | 1.4           | 29.6           | 51.4          | 17.6        |
| 授業を通じてやりたいことを見つけない      | 6.3           | 31.7           | 48.6          | 13.4        |

問 12 卒業後の進路についてどのような希望をもっていましたか。また今持っていますか。

|                   |                      |                   |                   |
|-------------------|----------------------|-------------------|-------------------|
|                   | 大学に入学した時<br>(いくつでも○) | 現在の希望<br>(いくつでも○) | 決定している<br>(一つだけ○) |
| 民間企業（音楽以外の）に就職する  | 12.0                 | 21.1              | 2.1               |
| 公務員になる（教員以外）      | 10.6                 | 8.5               | 0.7               |
| 教員になる             | 54.9                 | 49.3              | 5.6               |
| 演奏家になる            | 35.9                 | 35.2              | 5.6               |
| 作曲・編曲家になる         | 3.5                  | 4.2               | 0                 |
| 音楽関係の企業に就職する      | 53.5                 | 45.8              | 8.5               |
| 自営業など上記以外の形で就職する  | 4.2                  | 7.7               | 1.4               |
| 大学院などに進学する（海外を含む） | 24.6                 | 23.3              | 6.3               |
| その他               | 8.5                  | 14.8              | 2.8               |
| 決めていない            | 8.5                  | 10.6              | 14.1              |

問 13 就職する上で、次の点はどの程度重要と思いますか。

|                    |        |        |       |
|--------------------|--------|--------|-------|
|                    | 重要ではない | ある程度重要 | 極めて重要 |
| どの大学（大学院）を出たかということ | 28.2   | 67.6   | 4.2   |
| どの分野専攻したかということ     | 11.3   | 72.5   | 16.2  |
| 個人としての能力           | 0.7    | 14.1   | 85.2  |

問 14 仕事にどのようなことを望みますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

|                   |                         |                    |
|-------------------|-------------------------|--------------------|
| A                 | ← Aに近い      Bに近い→       | B                  |
| チームで仕事をして成果を分かち合う | ①11.3 ②44.4 ③29.6 ④14.8 | 個人の努力が成果に結びつく      |
| あらかじめ決められたことを形にする | ① 4.2 ②33.1 ③47.2 ④15.5 | 新しい商品やサービスを生み出す    |
| 年齢や経験を重視した給与      | ① 2.1 ②28.9 ③47.9 ④19.7 | 個人の業績や能力が大きく影響する給与 |
| 残業が多くてもキャリアアップできる | ① 4.2 ②23.9 ③49.3 ④21.1 | 残業が少なく自分の時間が持てる    |
| 一つの仕事で専門家になること    | ①14.8 ②37.3 ③35.2 ④12.0 | いろいろな仕事を幅広く経験できること |

問 15 大学を卒業後のキャリアについてどう考えていますか。

|                             |        |        |      |
|-----------------------------|--------|--------|------|
|                             | そう思わない | ある程度思う | そう思う |
| すぐに就職して最初から正社員・正規の職員になる     | 24.6   | 51.4   | 22.5 |
| すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない    | 38.7   | 45.8   | 12.0 |
| すぐに大学院などに進学する               | 50.7   | 35.2   | 11.8 |
| 就職してから大学院への進学を考える           | 70.4   | 23.9   | 2.8  |
| 一定期間、演奏家等音楽の専門家としての道を追求していく | 33.8   | 45.1   | 16.9 |
| 資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない    | 69.7   | 23.9   | 2.8  |
| 卒業後すぐに就職しなくてもよい             | 51.4   | 35.9   | 9.2  |
| 最初の就職先にできるだけ長く勤める           | 21.8   | 51.4   | 21.8 |
| 何年かして転職や独立をする               | 43.7   | 48.6   | 3.5  |
| 結婚・出産したら仕事を辞める（女性のみ）        | 66.7   | 30.9   | 2.4  |

問 16 今学期は、大学にどの程度きていますか。また授業にはどれくらい出席していますか。

|              |             |                  |
|--------------|-------------|------------------|
| 学期中、大学に来ている日 | 週に（ 4.79 ）日 | 授業への出席率（ 8.89 ）割 |
|--------------|-------------|------------------|

問 17 典型的な 1 週間の平均的な生活時間を、学期中と休暇中の別に教えてください。

|     |                       | 0 時間 | 1~5  | 6~10 | 11~15 | 16~20 | 21~25 | 26~30 | 31 以上 |
|-----|-----------------------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 学期中 | 授業（レッスン等を含む）への出席      | 0    | 30.3 | 16.2 | 7.7   | 12.7  | 10.6  | 5.6   | 12.0  |
|     | 授業（レッスン等を含む）の課題、準備・復習 | 0.7  | 30.3 | 18.3 | 14.1  | 8.5   | 7.7   | 2.1   | 11.3  |
|     | 卒業研究・実験・卒論（該当者のみ）     | 12.0 | 10.6 | 6.3  | 3.5   | 1.4   | 0     | 0     | 0.7   |
|     | 授業とは関係ない学習            | 26.8 | 47.2 | 10.6 | 2.8   | 2.1   | 2.1   | 0     | 0     |
|     | サークル・クラブ活動            | 50.0 | 29.6 | 6.3  | 3.5   | 0     | 0     | 0     | 0     |
|     | アルバイト・仕事              | 29.6 | 19.0 | 17.6 | 12.7  | 10.6  | 1.4   | 0.7   | 0.7   |
|     | ボランティア活動              | 65.5 | 15.5 | 0.7  | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 休暇中 | 学習                    | 11.3 | 33.1 | 16.2 | 8.5   | 4.9   | 2.8   | 3.5   | 4.2   |
|     | サークル・クラブ活動            | 59.9 | 12.0 | 4.9  | 2.1   | 1.4   | 0     | 0     | 1.4   |
|     | アルバイト・仕事              | 25.4 | 12.0 | 12.0 | 13.4  | 11.3  | 4.9   | 2.1   | 3.5   |
|     | ボランティア活動              | 57.7 | 16.9 | 4.9  | 1.4   | 0     | 0     | 0     | 0     |

問 18 あなたは本（マンガを除く）を一ヶ月に何冊くらい読みますか。

|      |      |      |      |     |       |
|------|------|------|------|-----|-------|
| 読まない | 1 冊  | 2 冊  | 3 冊  | 4 冊 | 5 冊以上 |
| 26.8 | 32.4 | 20.4 | 12.0 | 2.8 | 4.2   |

問 19 あなたは、どのような友達とよく話をしますか。

|            | ほとんど無い | あまりない | 時々ある | よくある |
|------------|--------|-------|------|------|
| クラス・研究室の友達 | 7.0    | 5.6   | 19.0 | 64.8 |
| サークルの友達    | 40.1   | 3.5   | 9.9  | 35.2 |
| 同じ専攻の友達    | 1.4    | 1.4   | 12.0 | 84.5 |
| 上記以外の友達    | 2.1    | 7.7   | 37.3 | 49.3 |

問 20 あなたの住居は下のどれに当てはまりますか。

|          |                    |        |          |
|----------|--------------------|--------|----------|
| 自宅（35.2） | 賃貸アパート・マンション（58.5） | 寮（2.8） | その他（2.8） |
|----------|--------------------|--------|----------|

問 21 一カ月の生活費（授業料を除く）をどのように賄っていますか。

|               |             |                  |             |
|---------------|-------------|------------------|-------------|
| 両親等から（4.02）万円 | 奨学金（1.71）万円 | アルバイト・給与（1.91）万円 | その他（0.09）万円 |
|---------------|-------------|------------------|-------------|

問 22 授業料をどのように賄っていますか。割合を全体で 10 割になるようにお答えください。

|              |            |                 |            |
|--------------|------------|-----------------|------------|
| 両親等から（8.58）割 | 奨学金（1.23）割 | アルバイト・給与（0.17）割 | その他（0.02）割 |
|--------------|------------|-----------------|------------|

問 23 中学・高校での経験について、当てはまるものを選んでください。

|                          |                                                                 |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 中学生の頃の成績                 | 下の方（4.2） 中の下(8.5) 中くらい（30.3） 中の上（33.8） 上の方（20.4）                |
| 高校 1 年生の頃の進路希望           | 就職する（0.7） 専門学校（4.2） 短大（0.7） 大学（80.3） 考えていなかった（13.4）             |
| 高校 3 年生の頃の家や塾での 1 日の勉強時間 | していない(14.1) 1 時間程度(23.9) 2 時間程度(22.5) 3 時間程度(19.0) 4 時間以上（18.3） |
| 大学入学資格検定                 | 受けた（4.2） 受けていない（93.7）                                           |
| 高卒程度認定試験                 | 受けた（1.4） 受けていない（95.8）                                           |

問 24 出身高校についてお聞きします。

|     |                                                            |
|-----|------------------------------------------------------------|
| 設置者 | 公立（66.2） 私立（31.7） 国立（0） 海外（0）                              |
| 種類  | 3 年制（83.1） 中高一貫（16.2）                                      |
| 学科  | 普通科（76.8） 総合学科（1.4） 専門学科（音楽、商業、工業、家庭、農業科など）(19.0) その他(2.1) |

問 25 高卒から現在まで経験したこと。1， 2， 3 の場合は、高専、専門学校、短大、大学のべつについても。(いくつでも可)

|   |                   |     | 高専 | 専門学校 | 短大  | 大学  |
|---|-------------------|-----|----|------|-----|-----|
| 1 | 高卒後、他の高等教育機関に入学した | 8.5 | 0  | 0.7  | 2.8 | 4.2 |
| 2 | 高卒後、他の高等教育機関を卒業した | 7.0 | 0  | 0.7  | 3.5 | 2.8 |
| 3 | 高卒後、他の高等教育機関を中退した | 1.4 | 0  | 0.7  | 0   | 0.7 |
| 4 | 高卒後、フルタイムで働いた     | 1.4 |    |      |     |     |
| 5 | 高卒後、パートタイムで働いた    | 9.2 |    |      |     |     |
| 6 | 高卒後、浪人した          | 9.9 |    |      |     |     |
| 7 | 大学入学後、休学した        | 0   |    |      |     |     |

問 26 現在の大学に合格した際の入試形態と志望順位を教えてください。

| 入試形態            | 受けた  | 受けていない |
|-----------------|------|--------|
| 大学個別の一般入試（学力試験） | 21.8 | 45.1   |
| センター入試          | 15.5 | 50.0   |
| 推薦入試（AO入試を含む）   | 77.5 | 15.5   |
| 編入学試験           | 8.5  | 55.6   |

| 志望順位 | 第 1 志望（74.6） | 第 2 志望（16.9） | その他（2.8） |
|------|--------------|--------------|----------|
|------|--------------|--------------|----------|

問 27 あなたの年齢、性別、出身地について教えてください。

| 年齢 | （ 20.9 ） 歳 | 性別 | 女性（86.6） 男性（13.4） | 出身地 | 日本（98.6） 日本以外（0.7） |
|----|------------|----|-------------------|-----|--------------------|
|----|------------|----|-------------------|-----|--------------------|

問 28 保護者の最終学歴について教えてください。

|    | 中学まで | 高校   | 高専  | 専門学校 | 短大   | 大学   | 大学院 |
|----|------|------|-----|------|------|------|-----|
| 父親 | 3.5  | 28.9 | 1.4 | 6.3  | 1.4  | 46.5 | 5.6 |
| 母親 | 3.5  | 33.1 | 1.4 | 15.5 | 16.9 | 23.9 | 1.4 |

問 29 あなたは、これまでに次のようなことを感じたり思ったりしたことがどのくらいありますか。

|                      | ほとんどない | あまりない | 時々ある | よくある |
|----------------------|--------|-------|------|------|
| 生活に熱意がわからない          | 18.3   | 31.0  | 41.5 | 7.0  |
| 友達のことで悩みがある          | 16.9   | 28.9  | 41.5 | 12.0 |
| 先生のことで悩みがある          | 19.7   | 52.1  | 21.1 | 6.3  |
| 授業内容についていけない         | 21.8   | 37.3  | 33.8 | 6.3  |
| 授業に興味・関心がわからない       | 14.8   | 34.5  | 45.1 | 4.9  |
| 進級や卒業ができるか心配だ        | 33.8   | 20.4  | 21.1 | 24.6 |
| 他の学科・学部・大学や学校に入り直したい | 45.1   | 26.1  | 21.1 | 7.0  |
| 大学を辞めたい              | 67.6   | 18.3  | 9.9  | 4.2  |
| 経済的に勉強を続けることが難しい     | 36.6   | 29.6  | 25.4 | 6.3  |
| 周りの学生がやる気がない         | 16.9   | 38.7  | 30.3 | 13.4 |
| やりたいことが見つからない        | 33.1   | 33.8  | 23.9 | 8.5  |
| 就職活動が思い通りにいかない       | 23.9   | 25.4  | 23.9 | 21.8 |
| 卒業後の進路に悩みがある         | 10.6   | 12.7  | 28.2 | 47.2 |

問 30 次のような点であなたの所属する大学は成功していると思いますか。また将来の大学にとって重要だと思いますか。

|                | 現在の評価       |                |            | 将来の在り方     |            |           |
|----------------|-------------|----------------|------------|------------|------------|-----------|
|                | 成功して<br>いない | ある程度成功<br>している | 成功して<br>いる | 重要では<br>ない | ある程度<br>重要 | 極めて<br>重要 |
| 専門分野の理論を深く教育する | 14.1        | 69.0           | 14.1       | 0          | 35.2       | 57.0      |
| 専門分野の技能を深く教育する | 9.2         | 72.5           | 15.5       | 0.7        | 27.5       | 64.8      |
| 職業にすぐ役立つ教育を行なう | 40.8        | 51.4           | 4.9        | 0.7        | 46.5       | 45.8      |

|                         |      |      |      |     |      |      |
|-------------------------|------|------|------|-----|------|------|
| 専門の基礎をなす基本的な知識や考え方を教育する | 15.5 | 67.6 | 14.1 | 0.7 | 40.9 | 50.7 |
| 専門にこだわらない、幅広い教育を行なう     | 33.8 | 60.6 | 2.1  | 2.8 | 58.5 | 30.3 |

問 31 教職課程の科目を履修した理由。

|   |                                          |      |
|---|------------------------------------------|------|
| 1 | 教員になることを希望しているから                         | 26.1 |
| 2 | 教員になるかどうか未定であるが、教員免許状を取得しておく、将来役に立つと思うから | 65.5 |
| 3 | 短大・大学に進学するための条件として親と約束したから               | 14.8 |
| 4 | その他                                      | 4.9  |

問 32 問 31 の質問で 1 に回答した人のみ回答。

(1) 教員になることを希望している一番の理由は何ですか。

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 教員という職業に魅力を感じているから    | 48.6 |
| 子どもが好きだから             | 24.3 |
| 音楽の素晴らしさを子どもたちに伝えたいから | 40.5 |
| 身分が保障され、報酬が安定しているから   | 18.9 |
| その他                   | 2.7  |

(2) 教員採用試験に対するあなたの考えを聞かせてください。

|                                                     |      |
|-----------------------------------------------------|------|
| 仮に一回で合格しなくても、非常勤講師などをやりながら勉強を続け、可能な限り受験をして、希望を達成したい | 70.3 |
| 1 回は受験するが、それで合格しなければ、教員になることはあきらめる                  | 10.8 |
| 2~3 回は受験するが、それでも合格しなければ、教員になることはあきらめる               | 10.8 |
| 当面は演奏中心の活動を第一に考えるが、一定期間活動して成功しなかったら、教員になることを第一にする   | 5.4  |
| その他                                                 | 10.8 |

問 33 教育実習で（あるいは教員になって）音楽の授業を行うに必要な知識・技能は何が重要だと考えますか。具体的に教えてください。

問 34 教育実習（あるいは教員採用試験）に向けて、もうすでに（あるいは今から）力を入れて取り組んでいることは何ですか。あ  
る場合は具体的に教えてください。

問 35 教育実習（あるいは教員採用試験）に臨む上で、自分の知識や実技技能に不安を感じていることは何ですか。（いくつでも可）

|                 |      |                  |      |
|-----------------|------|------------------|------|
| 楽典的な内容（音楽の基礎知識） | 28.9 | ピアノ演奏技能（初見演奏を含む） | 57.0 |
| 西洋音楽史           | 52.1 | 歌唱技能（初見視唱を含む）    | 43.7 |
| 日本音楽史           | 53.5 | 聴音               | 49.3 |
| 我が国の伝統音楽に関する知識  | 54.2 | 授業における臨機応変な対応力   | 46.5 |
| 世界の諸民族の音楽に関する知識 | 56.3 | 生徒指導能力           | 52.8 |
| 移調楽器に関する知識      | 39.4 | その他              | 4.9  |
| オーケストラスコアの譜読み   | 40.1 |                  |      |
| 学習指導要領          | 50.0 |                  |      |
| 学習指導案の作成        | 47.2 |                  |      |
| 文章表現能力          | 57.7 |                  |      |

問 36 問 35 で実技面（ピアノや歌唱）に不安を感じていると回答した人だけ答えてください。

1 現在、ピアノ曲を練習していますか。

|   |               |   |                  |
|---|---------------|---|------------------|
| ア | 練習している (63.4) | イ | 全く練習していない ( 7.7) |
|---|---------------|---|------------------|

アと回答した人に伺います。具体的に曲名を答えてください。(教育実習で取り扱うような曲も含む)

|       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 作曲者 ( | ) | 楽曲名 ( | ) |
| 作曲者 ( | ) | 楽曲名 ( | ) |

アと回答した人に伺います。ピアノの練習時間は、平均して一日にどれくらいですか。

|          |
|----------|
| ( 63 ) 分 |
|----------|

2 現在、歌唱曲を練習していますか。

|   |             |   |                |
|---|-------------|---|----------------|
| ア | 練習している 39.4 | イ | 全く練習していない 33.1 |
|---|-------------|---|----------------|

アと回答した人に伺います。具体的に曲名を答えてください。(教育実習で取り扱うような曲も含む)

|       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 作曲者 ( | ) | 楽曲名 ( | ) |
| 作曲者 ( | ) | 楽曲名 ( | ) |

アと回答した人に伺います。歌唱の練習（発声練習を含む）は平均して一日にどれくらいですか。

|            |
|------------|
| ( 37.4 ) 分 |
|------------|

問 37 教育実習（あるいは教員採用試験）に臨んでは、ピアノや歌唱の実技技能を十分に身に付けていることが重要ですが、そのことに対するあなたの意識はどうですか。

|                 |                  |                 |                |
|-----------------|------------------|-----------------|----------------|
| 十分に意識している(42.3) | まあまあ意識している(43.7) | あまり意識していない(4.9) | 全く意識していない(0.7) |
|-----------------|------------------|-----------------|----------------|

問 38 ピアノや歌唱の能力を伸ばすために、あるいは実技の重要性への意識を高めるために、教科教育法などの教職科目の授業で取り入れてほしい内容がありますか。ある場合は具体的に記入してください。

問 39 教育実習（あるいは教員採用試験）に臨み、これまでに学んできた大学（短大）の授業（教職課程以外のものも含めて）で役に立ちそうなものは何ですか。具体的に記入してください。